

## 2. 不定詞(副詞的用法)

～優秀な猫型ロボットになれ！～

目標:タスクを通して不定詞の副詞的用法を使いこなすことができる。

対象:中学二年生

時間:30分

準備:ワークシート、インプットで使用する写真、カルタ(絵札、読札)

### タスクの進め方

#### ○Pre-Task

1. 二人の教師が不定詞の表現を使いながら、のび太とドラえもんになりきり、会話をする。絵カードを使いながら、生徒の理解を助ける。

①N: Let's go to the North Pole right now!

D: Ok! I use "Dokodemo-Door".

N: Why?

D: To go to the north pole right now!

N: So, you use it to go to the North Pole right now.

②N: Hey, Doraemon! Let's go to the world of dinosaurs.

D: All Right! I use "Time-Machine".

N: Why?

D: To go to the world of dinosaurs.

N: So, you use it to go to the world of dinosaurs

③N: I found a dog! It's cute! Let's talk with him.

D: Wow! It's a good idea! I use "Honyaku-Konnyaku".

N: Why?

D: To talk with the dog.

N: So, you use it to talk with the dog.

2. ワークシートを使って、不定詞(副詞的用法)の形と意味を気づかせる。

#### ○Task

1. 4人グループを作る。
2. カルタをする。1グループに、絵カードと文章の書かれたカードを配布する。
3. 生徒は、ジャンケンをして勝った人から時計回りで、読み手になる
4. 他の人は、読み手が読んだ文章を聞いて適切なひみつ道具のカードを取る

5. カードを取ったら、文章を完成させる。(例:I use Dokodemo-Door to go to Sapporo right now.)
6. 一番カードを多く取った生徒が勝ち。

#### ワンポイントアドバイス

- お手つきをしたら次のターンは休み。
- 生徒が取ったカードから2枚選んで文章を書く。

(村上 翔太)